

“住むなら、きみつ”インタビュー

ふるさと宮城を感じながら、

充実した環境で子育てしています！



小松さん親子
(君津市大和田)

日々、娘さんの子育てに奮闘中の小松さん一家。今回、宮城県から君津市に移住して約4年になる奥さんの布美さんにお話を伺うことができました★

結婚を機に、宮城から“きみつ”へ

私が君津市へ移住したのは、君津市出身である主人との結婚がきっかけでした。学生時代は東京にいましたが、君津市に来たことはなく、結婚前に主人とのデートで数回訪れた程度だったため、正直言ってあまり君津市のことは知りませんでした。私の地元、宮城県の両親も君津市のことはほとんど知らず、「南房総の・・・」くらいの認識だったので、多少の不安はあったかもしれません。

しかし、地元と少なからず似ているところが多く、環境の変化もあまり感じなかったため、すぐに溶け込むことができました。

“きみつ”で暮らしてみても

現在は、君津市内の主人の実家に同居しており、祖父のサポートを受けなが

ら、日々子育てに奮闘中です。

君津市の印象としては、自然豊かなまちでありながら、都心まで自家用車や高速バスで約 1 時間という立地にあり、とても「便利なまち」だなぁと思っています。

実家のある宮城へ帰省する際にも、東京駅まですぐに行くこともできるので、様々な面で負担が少なく助かっています。

普段の買い物は、スーパーマーケットや今年、君津にオープンしたばかりのショッピングセンターを利用しています。

また、長女はいちごが大好きで市内の観光農園にも毎年、足を運んでいます。大きく真っ赤になったいちごの実を 20 個食べたこともあり、家族でいちご狩りの時期を楽しみにしています。



市内観光農園でのいちご狩り

“きみつ”の子育て環境

移住して 1 年程経って、長女が誕生しました。最近は、定期的に“子育て支援センター”や生涯学習センター内の“こっこるーむ”を利用させてもらっています。

君津市の子育て支援施設は、広くて綺麗なところばかりで、土日も利用できます。更に「紙芝居の会」や「わらべうたで遊ぼう」といった子どもが喜ぶイベントがあるのも魅力です。地元にも似たような施設はありますが、土日は休館日であったり、時間が限られていたり、利用したい時になかなか子どもを連れていけないという声も耳にしました。

こうした子育て施設で他のママさんたちと出会い、いろいろと相談できる友人もできました。やはり、同じ年代のお子さんを育てるママさんとは悩みを共有することもできますし、子ども同士も遊びを通してつながっていくのを感じます。他市に住む友人が「君津市の施設はいいね」と言ってくると、改めて子育て施設が充実しているんだなぁと思います。

また、市内の保育園も積極的に「園庭解放」をしているとのことなので、利



楽しく子育てしています

用してみたいと思っています。

さらに、君津市は中学生までの子どもの医療費が無料ですが、近隣の自治体では一部の世帯を除いて、子どもの医療費は有料であることを知りました。この制度のおかげで、ケガや病気の際には、安心して子どもを病院に連れて行くことができる環境が整っていると実感しています。

移住後に苦労したこと

特に思い当たることはないですね…。

偶然、私の地元の環境に似て、自動車での移動がメインとなるまちだったこともあり、自然と馴染めたのかもしれませんが。

強いて言うのであれば、帰省する際、これぞというお土産が無いことくらいですかね。ただ近頃は、君津IC近くの土産物店に地元の銘菓などが多く取り揃えてあるので、そこでお土産を購入し、帰省することが多いですね。

移住を検討している人たちへ

繰り返しになりますが、君津市は自然に恵まれながら、東京湾アクアラインを使えば、東京まで1時間で行けるまちです。それに、“まち”の雰囲気も地元・宮城に似た懐かしさを覚えます。

君津市は住みやすく、のびのびと子育てをしながら暮らすにはとても良い場所だと思います！



子育て支援センター



生涯学習交流センター「こっこるーむ」